

成人代表謝辞



松本宗浩さん

新年を迎え、私たち62名は新たな希望を胸に、成人式を迎えることができました。本日、新春早々のお忙しい中、山田基星町長はじめ、多くの皆様にお

集まり頂き誠にありがとうございます。皆様から頂いた一つ一つの温かいお言葉を心に刻み、大人としてのこれからの人生において、己の道に精進して参る決意です。

私は、この自然豊かな広野町に生まれたことを光榮に思っています。しかし近年、地方都市の多くは、過疎化や少子高齢化の進行などの影響で以前のにぎわいを失い、さまざまな問題を抱えていると言われていています。私たち一人一人は、自分の生まれ育ったこの大好きな広野町の将来について真剣に考え、この町の豊かな未来のために力を合わせなくてはなりません。そして、広野町が多くの人に愛される魅力溢れる町として発展していくために責任を果たして行きたいとの思いを抱いております。

しかし、昨年からはじめた不況の影響が私たちの身近に迫っていることも間違いないでしょう。

就職内定の取り消しや非正規雇用者の不当解雇などのニュースを繰り返し目にし、これから私たちが進んでいく社会の厳しさをまざまざと見せつけられた思いであります。つい昨日までは他人事と考えて、あまり実感のなかった私たちですが、成人となった今日、自分自身のこととして捉えなくてはならないのだと、改めて感じました。一人一人の力は小さなものですが、みんなが一丸となり、ひとつの大きな力を結集して、主体的に社会を変えることが必要なのではないかと考えております。

本日までの20年間、健康で不自由なく生活することができたのは、両親はじめ多くの皆様の支えがあったからです。このご恩に対して心から感謝するとともに、これから、私たちがこの広野町の将来を担い、豊かな歴史と伝統を次の世代に伝えていくために努力する覚悟を新たにしております。

しかし、成人式を迎えたとは言っても、私たちは社会人としてまだまだ未熟者です。これから学ばなくてはならないことがたくさんあるでしょう。努力を重ねながら一步一步前進することを目指して精一杯頑張ってまいりますので、どうか厳しくご指導ください。

以上、感謝の気持ちと熱い決意を込めて、成人代表の謝辞といたします。本日は誠にありがとうございました。

新しく成人を迎えられた方々 祝 成人

男性 30名

合計 62名

女性 32名

赤城 千春	明石 和哉	猪狩 俊
遠藤 真輔	遠藤 達也	遠藤 紘史
大和田 道	金成 大輔	蒲地 真実
萱間 隆	木下 浩介	草野 倫輝
鯨岡 優志	黒田 光	齊藤 貴志
坂本 望	坂本 専	志田 大和
杉原 祐樹	鈴木 祐也	高木 博之
新妻 秀平	新妻 諒那	古市 浩彬
北條 佑	松本 宗浩	柳 昌平
吉田 雄太	若松 真伍	渡邊 克幸

猪狩あゆみ	猪狩さやか	猪狩 美佳
柏 愛美	鯨岡 沙織	久保田理沙
木幡 咲子	齊藤 愛美	齋藤 幸
坂本みなみ	櫻井 麻美	鈴木奈々子
鈴木 唯	鈴木友理枝	高木 理沙
瀧本智絵美	根本 育子	根本紗也加
根本 環	根本友紀乃	橋爪真奈美
堀江 朝子	本間 結衣	松本 沙樹
松本 奈々	松山 志帆	門馬 静香
山田 小浪	吉田美由紀	吉田友理絵
渡邊ひとみ	渡部 唯	

(順不同)

❖❖❖ おめでとうございます ❖❖❖

はたちの夢



蒲地 真実さん

本日はたくさんの方々の御祝辞を頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

一昨年より地元を離れ一人で大学生活を始めました。ある

意味で「大人」へ近付いたのかもしれませんが。しかしながらまだまだ我が身を未熟と思い、改めて親の存在の大きさに気付かされます。これは成人相応の年齢になっても学問の道へ進みたいという私の欲に全力で応援してくれていること、そして私の周囲のものに対する「視点」の甘さから思うものです。例えば「時価会計凍結案」に振り回される金融市場です。金融危機回避の為と銘打たれた策に、何も疑いを持たず楽観的立場にいればメディアの報道通りに「正しい判断」として受け入れてしまうでしょう。しかし少し違う角度で同じものに目を向けると、政府が自らの首を絞める可能性を含んだ「必ずしも正しくない判断」と存

在の色を変えることもあります。そういった多方向性の思考を瞬時に捉えられてこそ「人」たるものである以上、私はまだまだ「大人」ではありません。つまり、ある一定の地点からの恣意的操作で巡る世の中で、「何が正しいのか」を自ら判断し、常に一貫した論理と倫理を持った意見を携えていなければ本当の「大人」とは決していえないと私は考えます。

私は社会に出るまでに少なくともあと数年のモラトリアムがあります。本日の成人式を迎え、改めてその猶予の短さと、その期間を中身の詰まったものにしなくてはならないということに気付かされました。そしてその気持ちを誠実に日々にかし、これからの人生を豊かなものにしていきたいと考えます。

最後に、このような盛大な式典を開くことに尽くして下さった皆様、そしてここまで育ててくれた家族に心から感謝の意を表して、代表挨拶したいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

はたちの夢



根本 育子さん

本日は、私たちの成人式にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、二十歳の夢ということですが、私の夢は助産師になることです。母の叶

えたかった夢を追いかけております。そのために、現在、栃木県の大学で勉強をしております。そして、夢の実現のために、「今、自分ができることなんだろう?」と考え、大学の休みを利用し、自主的に助産院で実習させていただいております。助産師の仕事を具体的に知ることができ、女性の本来持つ力強さ、生命の尊さを学ぶことができました。生命の誕生にかかわる助産師の素晴らしさを実感し、この仕事に就きたいという気持ちがより一層強くなりました。女性が本来持っている力を引き出し、安心して出産ができるよう、そして、良い子育てをサポートしていただけるように技術を磨き、パワフルな助産師になりたいです。

今の私たちにとって、十代から二十代になる気

持ちはいつもの階段を一段大股で飛び越えるようなものです。その中で夢を持って生きている人はどのくらいいるのでしょうか。

この先、私たちが待っている未来は華やかなことばかりではなく、必ず、辛いことが待っています。しかし、辛いことから逃げずに、それを糧にしていきたいです。私が座右の銘としている言葉があります。それは、両親がよく言う言葉です。

「祝福は苦難という包装紙に包まれてやってくる。」どんな苦難にも真正面から立ち向かうことができれば、幸せはやってくるということです。

私たちは恵まれた時代に生まれ、育ってきました。それ故、些細なことでもくじけやすいと思います。しかし、先の見えない暗い時代です。くじけてばかりはいられません。日々の努力を惜しまず、自分を磨いていきましょう。本日の成人式で述べた自分の夢をそのように実現していけるよう、初心を忘れずに精進していきたいと思ひます。

最後に、今まで私たちが育てて支えてくださった両親、家族、地域の方々に感謝し、本日の「はたちの夢」とさせていただきます。ありがとうございました。